

エコアクション21

環境経営レポート



期間 2017年7月～2018年6月



株式会社大日電子

報告日：2018年11月2日

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者

株式会社大日電子

代表取締役 杵本 日出夫

(2) 所在地

本 社 大阪府吹田市江の木町12番27号

神戸事業所 兵庫県神戸市中央区港島9丁目1 (K I O)

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 取締役 杵本 知仁

TEL:06-6339-6299 FAX : 06-6339-6352

担当者 (事務局) 管理グループ 山岸 亮一

TEL:06-6339-6299 FAX : 06-6339-6352

(4) 事業内容

電気通信機器の設計・開発、製造、販売及び保守、修理サービス

主要製品：FM基地無線装置、列車無線装置、緊急地震速報装置

(5) 事業の規模

売上高 748百万円／2017年度

従業員 37名／2017年度

延床面積 1471㎡ (2017年3月事務所拡大)

2. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社大日電子 全組織

関連事業所： 株式会社大日電子 神戸事業所 (無人)

活 動： 全活動 (電気通信機器の設計・開発、製造、販売及び保守、修理サービス)

3. 環境経営方針

株式会社大日電子環境経営方針

【経営理念】

- ・モノ創り、ヒト創り、組織創り、未来創りでスパイラルアップします。
- ・顧客の期待が満足と信頼に変わることを常に志向し、積極的に新技術への挑戦をおこないます。
- ・社員が喜べる会社になります。

【環境理念】

株式会社大日電子は、地球環境問題を、事業活動をする上での重要課題の一つと認識し、電気通信機器の設計・開発、製造、販売及び保守、修理サービスの事業活動において、環境への取組と環境負荷の削減に努め、地球環境の保全と社会への貢献を目指し活動します。

【活動方針】

1. 具体的に次のことに取り組みます。
 - ①二酸化炭素排出量の削減
 - ・事業所における電力の使用量削減
 - ・自動車用燃料の使用量削減
 - ②廃棄物排出量の削減
 - ・廃棄物（一般・産業）の分別の削減
 - ③排水量の削減
 - ・水道の使用量削減
 - ④環境に配慮した製品の開発の推進
 - ⑤化学物質の適正管理これらについて環境目標・環境活動を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
3. 環境への取り組みを全ての従業員に周知し、環境活動レポートとして取りまとめ公表します。

改定日：2018年10月1日

代表取締役 杵本 日出夫

4. 主な環境負荷の実績（2015年7月～2018年6月）

項目	単位	2015年度	2016年度	2017年度
1. 二酸化炭素総排出量	kg-CO2	58,142	65,839	70,612
2. 廃棄物排出量	kg	4,766	2,592	2,342
・一般廃棄物排出量	kg	1,874	2,113	1,868
・産業廃棄物排出量	kg	2,892	479	474
3. 総排水量	m ³	242	281	317

※2015年度のCO2排出係数は、関西電力㈱0.509kg-CO2/kWhを使用した。

※2016年度のCO2排出係数は、関西電力㈱0.509kg-CO2/kWh及び東燃ゼネラル㈱0.496kg-CO2/kWhを使用した。

※2017年度のCO2排出係数は、関西電力㈱0.493kg-CO2/kWh及びJXTGエネルギー㈱0.459kg-CO2/kWhを使用した。

5. 環境経営目標とその実績

2018年度以降の目標

	2018年度目標	2019年度目標	2020年度目標
	目標値	目標値	目標値
1. 二酸化炭素排出量削減			
・電力（実数 kWh）	101,171	99,147	97,124
・電力（原単位 kWh/工数）	1.46	1.43	1.40
・ガソリン、軽油（L）	9,495	9,305	9,115
・二酸化炭素総排出（kg-CO2）	70,612	69,199	67,787
2. 廃棄物排出量削減			
・一般廃棄物（実数 kg）	1,868	1,830	1,793
・一般廃棄物（原単位 g/工数）	26.92	26.38	25.84
・産業廃棄物（kg）	474	464	455
・廃棄物総排出量（kg）	2,342	2,295	2,248
3. 水使用量の削減（m ³ ）	317	310	304
4. 環境配慮製品の開発推進 ローズ対応	54,863 万円	53,765 万円	52,668 万円

※基準年度は、前年度を基準年度とする。

※2019年度目標以降の削減率は前年対比-2%としている

※工数＝稼働時間

2017年度の運用結果（2017年7月～2018年6月）

	基準年度 (2016年度)	目 標 (2017年度)		1ヶ年実績 (2017年度)		目標達成状況
		目標値	削減率	実績値	削減率	
1. 二酸化炭素排出量削減						
・電力（実数 kWh）	84,846	84,846		101,171		×
・電力（原単位 kWh/工数）	1.22	1.22	0%	1.46	+20%	×
・ガソリン、軽油（L）	9,526	9,526	0%	9,495	-0.3%	○
・二酸化炭素総排出量	65,839kg-CO2	65,839kg-CO2		70,612kg-CO2		×
2. 廃棄物排出量削減						
・一般廃棄物（実数 kg）	2,113	2,113		1,868		○
・一般廃棄物 （原単位 g/工数）	30.47	30.47	0%	26.92	-12%	○
・産業廃棄物（kg）	479	479		474		○
・廃棄物総排出量（kg）	2,592	2,592		2,342		○
3. 水使用量の削減（m ³ ）	281	281	0%	317	+13%	×
4. 環境配慮製品の開発推進 ローズ対応	50,167万円	50,167万円		54,863万円		○

※○目標達成 ×目標未達成

※2017年度のCO2排出係数は、関西電力(株)0.493kg-CO2/kWh及びJXTGエネルギー(株)0.459kg-CO2/kWhを使用した

6. 環境経営計画・取組結果と評価、次年度の取組内容

エコアクション21の取組の推進により従業員の地球環境問題への意識が向上し、周知徹底することができた。今後についても定期的なエコアクション委員会の会議を通じて環境活動を推進できるように進めて行きたい。

取組計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
電力の使用量削減 ・室内温度、夏28℃、冬20℃の推進 ・昼食時、不使用時の消灯	×	・目標値（1.22kWh/工数） ・実績（1.46kWh/工数）→ 達成率（84%） エアコンおよび照明の使用を社員全員で徹底したが、電力使用量の削減は目標未達成であった。今後も、エコアクション委員会を通じて引き続き環境活動を周知徹底し削減に努める。
自動車用燃料の使用量削減 ・アイドリングストップ ・急加速、急停止の防止 ・エコ運転の推進 ・燃費のよい車の購入(更新時) ・ゼロクレームによる遠方出張の削減	○	・目標値（22,622kg-CO2） ・実績（22,341kg-CO2）→ 達成率（101%） 今後もエコ運転の実技による推進をすすめ、より燃料使用量を削減するように努める。
一般廃棄物の分別と削減 ・分別ボックスの設置 ・ミスコピーの防止 ・梱包材の再利用	○	・目標値（30.47g/工数） ・実績（26.92g/工数）→ 達成率（113%） 廃棄物総排出量は基準年度に対して減少した。原単位でも目標達成に向けて今後もミスコピーの防止等を推進する。
産業廃棄物の分別と削減 ・素材別ボックスの設置 ・リサイクル業者の開拓 ・作業ミス減少による廃棄量の削減	○	・目標値（479kg） ・実績（474kg）→ 達成率（101%） 前期の実績より僅かに減少し、目標達成となった。
水道水の使用量削減 ・節水の呼びかけ ・蛇口からの水量を減らす	×	・目標値（281 m ³ ） ・実績（317 m ³ ）→ 達成率（89%） 例年僅かな差異であるが、目標未達成。節水を心がけ更に意識付けを図り、低減を推進していく。
環境配慮製品の開発推進 ・RoHS 指令適合部品使用製品製作	○	・目標値（50,167 万円） ・実績（54,863 万円）→ 達成率（109%） 売上総額が前年に対して減少したにもかかわらず、RoHS 対応製品の販売実績が増加し、目標達成できた。今後もRoHS 指令適合部品使用の製品を増やし、環境保全に努める。

○目標達成 ×目標未達成

7. 環境関連法規への遵守状況並びに違反、訴訟等の有無

(1) 適用となる主な環境関連法規

適用環境関連法規等	適用される事項 (事業活動・施設・物質等)	遵守状況の確認・評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の適正処理委託（一 廃、産廃）	産廃業者との契約確認（○）
フロン排出抑制法	業務用エアコン等及びフロ ン類の適切な管理	3ヶ月ごとの自主点検記録 （○）
資源の有効な利用の推進に 関する法律	パソコン破棄の場合	該当なし（－）
特定家庭用機器再商品化法	家庭用洗濯機・テレビ	引取伝票の確認（○）

（○）は遵守 （－）は該当なし

(2) 違反、訴訟等

環境関連法規規制等の順守評価の結果、環境法規等の逸脱はありませんでした。
なお、関係当局より違反等の指摘は、過去7年間ありません。

8. 代表者による全体の評価と見直し

環境改善活動E A 2 1を開始して、8ヶ年が経過した。

従業員の環境経営意識の向上は問題なく進んだ。また、環境活動計画の見える化（グラフ化）により、より実態を把握することができた。

更に環境問題を改善するために、以下のことを推進すること。

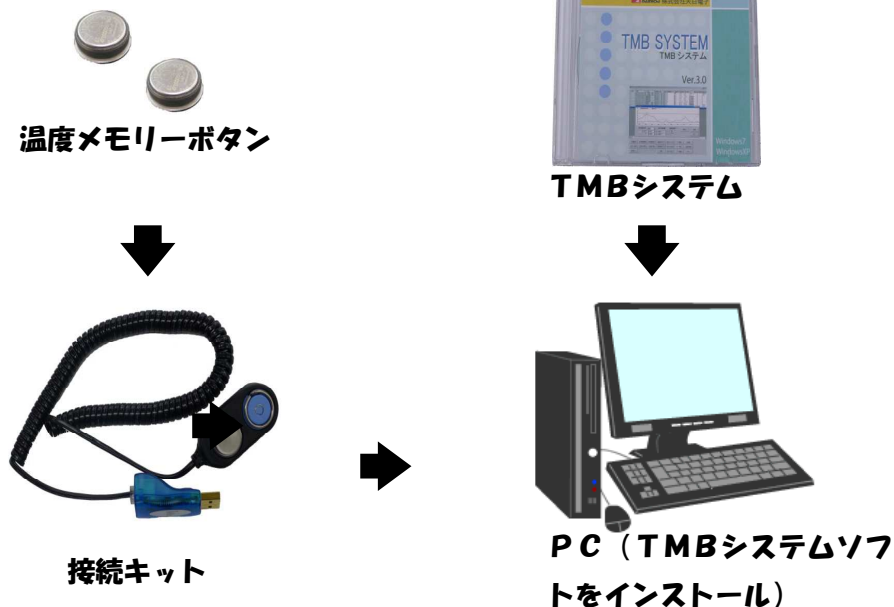
- 1) 未達成の環境目標を重点的に再検討し、具体策を立案実行すること。
- 2) 全員で、目標達成のため協力しあうこと。
- 3) 各個人の役割を十分自覚して環境改善をすること。

今後もE A 2 1の活動を維持し、「地球環境の保全と社会への貢献」を目指し活動します。

9. 環境改善寄与製品等の紹介

- (1) 環境対策を考え、作業場・事務所・ビルなどの温度調査を行い省エネ化を図ることができる超小型温度メモリーボタンの販売

システム構成



特徴

1) 最大2048ステップのデータを記録

-20℃～+85℃の広範囲の温度測定を1分～255分の間隔で最大2048ステップのデータを記録できます。

2) データベースで1度に表示

読みとったデータはデータベース上にファイルされ、ボタンがなくても測定データのグラフ表示ができます。また、パソコン間でデータを共有でき、CSVファイル出力ができるため他のアプリケーションで使用することができます。

3) グラフ表示で一目瞭然

推移グラフ、分布グラフの2種類のグラフ表示機能があり、推移グラフは一度に5件のデータを表示できます。警報アラームの設定ができ、温度の異常を一目で確認できます。

4) どこでも簡単に設置

直径17mm程の小さなボタンなので設置場所を選びません。

- (2) エコアクション委員会の活動と社会貢献活動としてエコキャップ運動の推進